

子どもたちに 病気についてどう伝えるか 話し合しましょう

子どもたちに伝える時は……

1 今の状態を説明する

子どもたちは学校へ行ったり、遊んでいたとしても、心のどこかで必ずお父さん／お母さんのことを心配しています。

お子さんにわかる言葉で、今何が起きているのかを説明してください。

2 病気は誰のせいでもないことを伝える

お父さん／お母さんの病気は誰のせいでもないことを、お子さんにはっきりと言葉で伝えてください。

3 がんはうつらないことを伝える

子どもたちは、病気について知り始めると、次に「ぼく／わたしも同じようになるのかな?」「近寄っても大丈夫?」と心配します。

「がん」は風邪のようにうつらないことを教えてください。

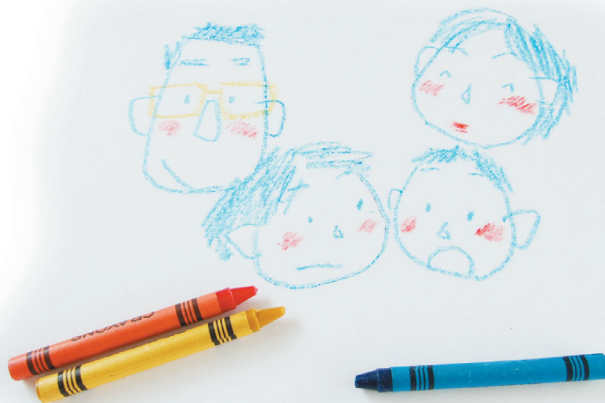
○子どもたちへうまく話すことができるのかな?

○伝えした後、子どもたちの反応が心配。
どうなるの?



治療中は、ご自身の気持ちの浮き沈みや体調の変化も大きく、なかなか思うようにお子さんにお話しできない事があるかもしれません。

私たちは
患者さん、そして子どもたちを
サポートします



患者さんへのサポート

患者さん、またはご家族から、お子さんに関する疑問や気がかり、不安なことなどをお聞きます。一緒にお子さんの対応について考えていきます。



子どもたちへのサポート

私たちが直接、お子さんと話をしたり、遊んだりしながら、お子さんの気持ちに寄り添います。

お子さんがお父さん／お母さんの病気を理解し、受け止めるためのお手伝いをしていきます。



子どもには、大人が思っている以上に理解力や適応力があります。

子どもたちの不安を和らげ、それぞれのご家族らしく生活が出来るようにご支援いたします。

